

一括質問

市中心部への来訪者を 増やすための取組は

商業施設の各種イベントとの 連携などを図りたい

石川 明男 議員(市政)

府中駅周辺では、民間事業者が道路等の管理を行う包括管理委託を実施している

ほか、憩いの空間を創出するためにけやき並木通りのモール化を進めていると聞く。モール化の実現には代替道路の整備が不可欠と思うが、



▲けやき並木通り

整備の考え方を聞きたい。都市整備部長 代替道路の整備は、安全に自動車などが府中街道にアクセスできることなどを重要な条件と考えており、現在、各路線の用地取得を進めているところである。議員 市中心部を活性化させるには観光事業の拡充も進めなければならぬと思うが、来訪者を増やすための今後の取組は、まちづくり担当 東京競馬場と連携した企画

一括質問

府中の歴史や文化に触れられる 観光客が文化施設等で 体験できる取組を行う考えは

機会を創出できるよう 情報収集に努めたい

松村 祐樹 議員(市政)

オリンピック・パラリンピックの東京大会開催に向けた今後の方針を聞きたい。

市長 市では、大会機運

の醸成やキャンプ地の誘致、ボランティアの育成支援などを柱とした基本方針を策定しており、今後は具体的な事業を立案し、市民との協働により取組を推進していきたい。議員 大会は、観光客に歴史ある府中市を知って

を実施することや商業施設の各種イベントとの連携を図ることなどにより、中心市街地の集客につな

一括質問

平成24年度から25年度に 特別養護老人ホームの 入所待機者が減少した要因は

待機者の状況を確認するよう 市が特養に依頼したためである

増山 明香 議員(市政)

特別養護老人ホーム(特養)への入所は、依然として需要が高い状況にあるが、入所希望者が複数の特養に申込みを行っていることなどにより、一時的に空きが生じるケースもあると聞く。そのため、入所が決まった段階ではかの特養に連絡するなど、市が調整を行うことで待機者の解消を促進してもらいたいと考える。一方で、平成24年度から25年度にかけては、待機者数が大幅に減少しているが、その要因を聞きたい。

福祉保健部長 特養で管理していた待機者の情報を市で整理したところ、亡くなっていたケースやほかの特養に入所していた例があったことから、改めて各特養に待機者の状況を確認するよう依頼したためである。

環境保全活動センターの役割について

一括質問

高齢者と地域の連携についての 考え方を聞きたい

高齢者が安心して 暮らし続けられる 仕組みづくりを推進していく

村木 茂 議員(市政)

本市における高齢者福祉対策の現状を聞きたい。

市長 本市では、平成27年3月に市高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画を策定し、地域包括ケアシステムの構築に向け、生活支援サービスの充実など6つの取組に基づいた施策を推進している。

議員 老老介護の問題に対する施策を推進していくことが重要と思うが、高齢者と地域の連携についての考え方を聞きたい。

福祉保健部長 地域包括支援センターや自治会など地域が連携をしながら、

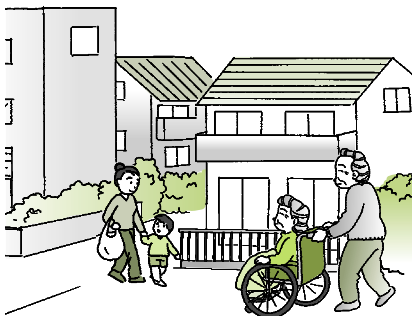
一括質問

子育て支援サービスを 集約化するための取組は

子育てひろば内で行うなど 専門職が声掛けを 支援につなげる体制を整えている

高津 みどり 議員(公明)

平成27年4月に策定された第5次府中市男女共同参画計画で新たに盛り込まれた施策を聞きたい。市民協働推進本部長 ワーク・ライフ・バランスの推進を目標の一つとし、意識啓発に努めている。



支援が必要な高齢者を早期に発見し、訪問介護ヘルパーの派遣につなげることを促進するなど、高齢者が安心して暮らし続けられる仕組みづくりを推進していく。

※老老介護：高齢者の介護を高齢者が行うこと

議員 妊娠から出産、就

学までの総合的で切れ目のない子育て支援を行うネットワークについて、システム構築が必要と思うが、子育て支援サービスを集約化するための取組は、

子ども家庭部長 母子手帳を交付する際、保健師等が個々に合うサービスを紹介しており、支援を要する家族に対しては、関係機関と情報を共有しながら対応している。

また、子育てひろば内に専門職を配置し、情報提供や声掛けを行うなど支援につなげる体制を整えており、今後もこれらを計画的に実施することとしている。

一括質問

ひとり親家庭に対する 市の相談体制は

母子・父子自立支援担当を配置し 総合的な相談支援を行っている

備 邦彦 議員(友愛)

ひとり親家庭に関しては、孤立させず、行政や地域が支える体制づくりを行うべきと思うが、市の相談体制について聞きたい。

一括質問

公文書史料室等の機能を どのように存続させるのか

史料室と史料展示室の 機能を一体的に移転することが 望ましいと考える

村崎 啓二 議員(市友)

ふるさと府中歴史館は、府中駅周辺公共施設の再編に係る基本方針(案)で移転の方向性が示されているが、同館が果たしてきた役割を聞きたい。

市長 武蔵国府を中心とした調査、研究の成果や市内の文化財等を紹介するとともに、公文書の展示を通して地域の歴史等の情報を発信

がある。議員 市民自らが地域を知ることや知る権利を担保するといった面から、公文書史料室や史料展示室は重要



▲公文書史料展示室
▲公文書史料室

子ども家庭部長 市では母子・父子自立支援担当を配置し、総合的な相談支援を行っている。

また、関係課やハローワークとの連携により、個々の状況に応じた母子・父子自立支援プログラムを策定し、就労相談につないでいる。

議員 公営住宅において、ひとり親家庭に対する優遇措置はあるか。

生活環境部長 市営住宅の入居に係る抽選においては、ひとり親世帯の当選確率が2倍となる優遇措置を行っている。また、

な役割を持つていると考えるが、このような基本的機能をどのように存続させるのか。

文化スポーツ部長 史料室と史料展示室の両者の機能を一体的に移転することが望ましいと考える。

水循環基本法及び雨水利用推進法の施行に伴う、府中市の「水関連施策の推進につい

一問一答

市民協働が都合良く市民を使う 取組にならないための対策は

職員が研修を通じて市の考え方等を 理解することが重要と考える

須山 卓知 議員(市友)

市民協働の取組について、市長の考えを聞きたい。市長 近年、地域課題の解決や多様な市民ニーズへの対応を行政だけで行うことが困難になっていく。そのような中、市民と行政が対等な立場で協力する市民協働は、まちづくりを進めるために欠かせない取組であると考える。

議員 市民協働は、都合良く市民を使う取組になる恐れがあると言われているが、そのような状況にならないための対策は、

市民協働推進本部長 市民協働は、財源不足を補うためではなく、様々な主体がやりがいや幸せを感じながらまちづくりを進めていくために必要な手法であると認識している。そのため、職員が研

修を通じて、本市の市民協働の考え方をしっかりと理解することが重要であると考える。